

ドキュメンタリー映画

"アルマジロ" をみて.....

※アルマジロについて..

アフガニスタン 最前線 アルマジロ 基地の事
国際平和活動(PSO)という名の下に派兵された
デンマークの若い兵士達にマヌス・メッツ監督が、
7か月密着、撮影をしたドキュメンタリー映画、2010年。

◎見終ったあとは何も言えない怖い気持ちばかりが
残る作品でした。

出ているのは本当に普通の若者ばかりなのに、

このどこが国際平和活動なんだらう??と思う程、

銃撃戦シーンばかりがくり返されている。

身を守るための銃ではなく、攻撃するための銃.....

轟音に暮らしている人々が家族を亡くし、畑を荒れ

家畜もうばわけて、戦場になっているアフガニスタン、

そんなのに、若い兵士達が前線での軍隊生活を

送ったあと、任務を終えても、又、次の機会に

戦地に戻りたいと言う、考えられない事が起きている

こういう事実を映像として、世界に出してくれた事が

すばらしいと思う。

私達も安保法制、成立の中、「後方支援」などという

あいまいな言葉にだまされてはいけないと思う。

~ Sammy ~ (10)